

N-5: 参加者ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 13:50-15:20 新C103(1階)

URA間の情報共有を考える

研究支援者(URA)の業務やスキルアップに役立てられる文書や資料、データなどのリソースは、各大学それぞれで独自に蓄積されてきていると思われます。一方、各大学が共通して抱える課題については、URA全体でノウハウを蓄積し、共有を進めることで、日本のURA全体の業務効率化・スキルアップに繋がると考えられます。特に国際的な研究支援においては、各大学共通の課題でありながら情報が不足しがちであるため、URA間で支援事例を共有するネットワークの基盤をつくることは、日本のURAにとって広く有益であると考えられます。

今回のセッションでは、国際共同研究や海外の競争的資金に関する課題について中心に、各大学での調査結果の報告とともに九州大学、京都大学の事例紹介を交えて、参加者の方々とのディスカッションを行います。

本セッションのねらいは、日本の研究支援者の国際的な研究活動支援に役立つ情報共有のネットワークの基盤を作ることであり、またそれらの情報を、日本の相手となる海外の研究支援者やFAにも提供し役立てていただくことを望んでいます。具体的には、本セッションで得られた成果をもとに、日本のURA全体で国際研究を支援する体制を拡充し、その動向をINORMSなどの国際的なRA組織を通じて海外のURAやFA機関に対して発信してゆくことで、国際共同研究の促進につながると考えます。さらに、国際業務以外の様々な研究支援の場においても同様に情報共有を積み重ねることでURAの研究支援の成熟に貢献し、日本の研究力向上に資することを期待しています。

オーガナイザー

岡野 恵子: 横浜市立大学 URA部門 特任講師(URA)



2013年より京都大学南西地区URAとして、2015年より横浜市立大学URAとして勤務。科研費をはじめ競争的研究資金獲得支援を主業務に、プレプレからポストアワード、その他業務まで幅広く行う。自身の留学経験から国際関連の業務に携わることも多く、NCURA3回、INORMS1回、EARMA1回、ARMA1回の参加経験がある。

講演者

佐藤 弘基: 九州大学 法務統括室 研究推進専門員



2009年より九州大学知的財産本部国際法務担当として国際産学連携契約実務を担当。2011年、当大学内に全国の大学に先駆けて設置された国際法務室に異動し、大学の国際法務全般を担当する。当室は2019年4月に法務統括室に改組され、国内法務、臨床法務にも携わる。輸出管理DAY for ACADEMIA (EFA2018) 実行委員長、経済産業省大学安全保障貿易管理アドバイザー等、学外活動も積極的に行う。法学修士(博士課程単位取得退学)、経営修士(MBA)。

吉岡 佐知子: 京都大学 学術研究支援室 特定専門業務職員URA



京都大学文学研究科修士課程修了後、学術系出版社、教育業を経て、2009年から京都大学生存圏研究所でGCOE事業および部局の評価・点検業務に携わる。2013年より京都大学の宇治地区担当URA、2016年の京都大学学術研究支援室(KURA)一元化に伴い宇治キャンパスサテライトオフィスおよび国際グループのURAとして広く国際共同研究、JICA事業をはじめとするSDGs達成に寄与する事業、海外出身研究者の研究活動を主に支援している。